SONY

4-410-123-**02**(1)

デジタル スチルカメラ

取扱説明書

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Cyber-shot

DSC-W610

⚠警告 安全のために

→ *62 ~ 65ページも*
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・
においがしたら
煙が出たら

➡
❶ 電源を切る
❷ 電池をはずす
❸ ソニーの相談窓口に連絡する

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

お使いになる前に必ずお読みください

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

内蔵メモリーおよびメモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりすると、内蔵メモリーのデータやメモリーカードのデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。
  フォーマットすると、メモリーカードに記録されている全てのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください(58ページ)。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(58ページ)。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、充分に発光できない場合があります。

モニターおよびレンズについてのご注意

- モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- バッテリー残量がなくなると、レンズが出たまま動きが止まることがあります。充電されたバッテリーを取り付けて、再度電源を入れてください。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーが温かくなることがありますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる場合は、切れる前にモニターにメッセージが表示されます。撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

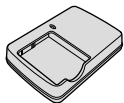
撮影内容の補償はできません

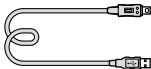
万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

目次

付属品を確認する

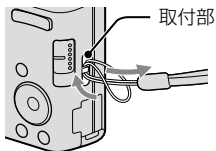
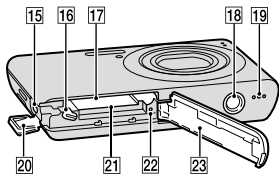
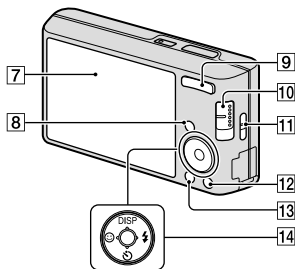
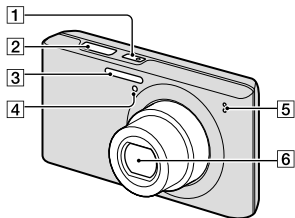
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

• バッテリーチャージャー BC-CSN/BC-CSNB（1）

• リチャージャブルバッテリーパックNP-BN（1）（NP-BN1同梱サイバーショットではご使用になれません。）

• 専用USBケーブル（1）

• リストストラップ（1）

• 取扱説明書（本書）（1）
• 保証書（1）

リストストラップを使う

落下防止のため、ストラップを取り付け、手を通してご使用ください。

各部の名前を確認する

1 ON/OFF（電源）ボタン

2 シャッターボタン

3 フラッシュ

4 セルフタイマーランプ/スマイルシャッターランプ

5 マイク

6 レンズ

7 液晶モニター

8 ▶（再生）ボタン

9 撮影時：W/T（ズーム）ボタン
再生時：Q（再生ズーム）ボタン/▦（インデックス）ボタン

10 モードスイッチ

11 リストストラップ取り付け部

12 🗑（削除）ボタン

13 MENUボタン

14 コントロールボタン
メニューオン時：▲/▼/◀/▶/●
メニューオフ時：DISP/⏲/☺/⚡

15 USB / A/V OUT端子

16 取りはずしつまみ

17 バッテリー挿入口

18 三脚用ネジ穴
- ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使う。5.5 mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

19 スピーカー

20 端子カバー

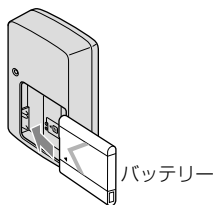
21 メモリーカード挿入口

22 アクセスランプ

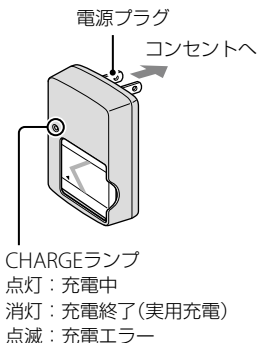
23 バッテリー /メモリーカードカバー

バッテリー充電と、使用可能枚数・時間

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付ける。

- 残量があるバッテリーも充電できる。

2 電源プラグを引き起こし、コンセントに取り付ける。

- CHARGEランプ消灯後、そのまま約1時間充電を続けると、若干長く使えます（満充電）。
- CHARGEランプが点滅し充電が完了しなかった場合は、一度バッテリーを取りはずし、再度装着してください。

CHARGEランプ
点灯：充電中
消灯：充電終了（実用充電）
点滅：充電エラー

3 充電が終わったら、バッテリーとバッテリーチャージャーを取りはずす。

充電にかかる時間

満充電	実用充電
約245分	約185分

ご注意

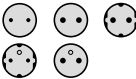
- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。
- バッテリーチャージャーを取り付けるときは、お手近なコンセントをお使いください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り出してください。
- 必ずソニー製純正バッテリー、バッテリーチャージャーをお使いください。
- NP-BNはバッテリーチャージャー BC-TRN2（別売）では急速充電できますが、BC-TRN（別売）では急速充電できません。

バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

	使用時間	枚数
静止画撮影	約125分	約250枚
静止画再生	約290分	約5800枚
動画撮影	約95分	—

ご注意

- 撮影枚数は満充電された状態での目安の枚数です。使用方法で枚数は減少する場合があります。
- 以下の条件で撮影した場合です。
  - 当社製の"メモリースティック PRO デュオ"（別売）を使用
  - 満充電したバッテリー（付属）で、温度25 ℃の環境
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。（CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Product Association）
  - DISP（画面表示設定）：[標準]
  - [表示画質モード]：[標準]
  - 30秒ごとに1回撮影
  - 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする。
  - 2回に一度、フラッシュを発光する。
  - 10回に一度、電源を入/切する。

- 動画撮影時の数値は、以下の条件で撮影した場合です。
  – 録画モード：VGA
  – 連続撮影の制限（50ページ）により撮影が終了したときは、再度シャッターボタンを押して撮影を続ける。

バッテリーについて

バッテリーの消費や使用可能時間については、59ページでも詳しく説明しています。

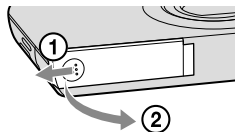
海外でも使えます

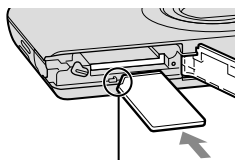
バッテリーチャージャー（付属）は全世界で使用できます（AC100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz）。ただし、地域によってはコンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプターが必要です。お出かけ前に、旅行代理店などで訪問先のコンセントの形状を確認し、必要に応じてご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使用できません。故障の原因になります。

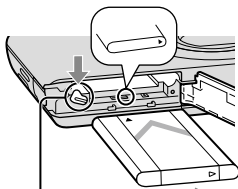
コンセント形状例	地域	変換プラグアダプター
	主に北米	不要
	主にヨーロッパ	必要

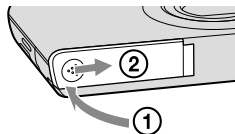
準備する

バッテリー/メモリーカード(別売)を入れる

1 カバーを開ける。

2 メモリーカード(別売)を入れる。

切り欠き部をイラストの向きにして、カチッというまで押し込む。

3 バッテリーを入れる。

バッテリーをバッテリー挿入口の中にあるイラストに合わせて、取りはずしつまみがロックするまで押し込む。

4 カバーを閉じる。

- 正しく挿入しないままカバーを閉めると、破損のおそれがあります。

使用できるメモリーカード

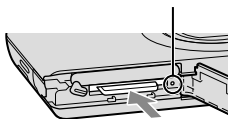
本機で使用できるメモリーカードは、"メモリースティックPROデュオ"、"メモリースティックPRO-HGデュオ"、"メモリースティックデュオ"、およびSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。マルチメディアカードは使用できません。
本書では、"メモリースティックPROデュオ"、"メモリースティックPRO-HGデュオ"、"メモリースティックデュオ"を「"メモリースティックデュオ"」、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードを「SDカード」と表現しています。

動画撮影時は、以下のメモリーカードをおすすめします。
– MEMORY STICK PRO DUO("メモリースティックPRO デュオ")
– MEMORY STICK PRO-HG DUO("メモリースティックPRO-HG デュオ")
– Class 2以上のSDカード

記録できる枚数/時間については、50ページをご覧ください。

ご注意

- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とUSBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット(初期化)を促す表示がされる場合がありますが、決して実行しないでください。内容がすべて失われます。(exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。)

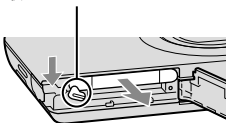
メモリーカードを取り出す

アクセスランプが消えていることを確認して、メモリーカードを押す。

ご注意

- アクセスランプ点灯中は、メモリーカード/バッテリーを取り出さないでください。データやメモリーカードが壊れることがあります。

メモリーカードを入れていないときは

本体に内蔵されているメモリー（約21MB)に画像が記録されます。メモリーカードにコピーする場合は、本機にメモリーカードを入れ、MENUボタン → (設定) → (メモリーカードツール) → ［コピー］を選びます。

バッテリーを取り出す

取りはずしつまみをずらす。バッテリーが落下しないように注意する。

バッテリーの残量を確認する

モニター左上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。

多 → なし

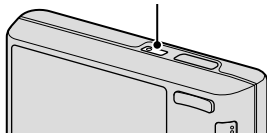
ご注意

- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- ［パワーセーブ］設定が［標準］または［スタミナ］のときに電源を入れたまま一定時間操作しないと、自動で電源が切れます（オートパワーオフ）。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋に入れて金属から離して下さい。

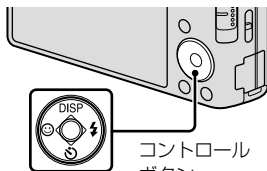
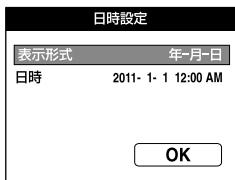
日付と時刻を設定する

1 ON/OFF（電源）ボタンを押す。

電源が入る。電源ランプは起動時のみ点灯する。

- 電源を入れたとき、操作ができるまでに時間がかかることがある。

2 コントロールボタンの▲/▼で設定する項目を選び、中央の●を押す。

表示形式：日付表示順を選ぶ。

日時：日付、時刻を設定する。

3 ▲/▼/◀/▶で数値、好みの設定を選び、中央の●を押す。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。

4 [OK]を選び、中央の●を押す。

5 モニターの指示に従って希望の画面カラー、表示画質モードを選ぶ。

画像に日付を挿入するには

本機には画像に日付を挿入する機能はありません。ソフトウェア「PlayMemories Home」を使用すると、日付を入れて保存/印刷できます。
詳しくは、PlayMemories Home ヘルプガイド(41ページ)をご覧ください。

時計合わせをやり直す

はじめて電源を入れたときのみ、自動で日時設定画面が開きます。日時を合わせ直すときは、MENUボタンを押して、(設定) → (時計設定) → [日時設定]を選び、日時設定画面を開いてください(48ページ)。

パソコンに「PlayMemories Home」をインストールする

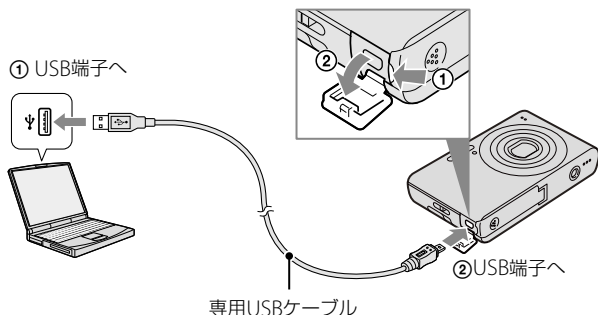
ソフトウェア「PlayMemories Home」をパソコン（Windows）にインストールします。「PlayMemories Home」を使うと、撮影した画像をパソコンに取り込んで見ることができます。
「PlayMemories Home」のインストールを行わなくても、本機での撮影・再生などの操作は可能です。

1 パソコンの推奨環境を確認する。

OS（工場出荷時にインストールされていること）	Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7 SP1
CPU	Intel Pentium Ⅲ 800 MHz以上
メモリ	Windows XP：512 MB以上（1 GB以上を推奨します） Windows Vista/Windows 7：1 GB以上
ハードディスク（インストール時に必要な容量）	約500 MB
ディスプレイ	1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。

2 充分に充電したバッテリーを本機に入れ、▶（再生）ボタンを押す。

3 パソコンの電源を入れ、本機とパソコンを専用USBケーブル(付属)で接続する。

4 [コンピュータ](Windows XPでは[マイコンピュータ])→[PMHOME]→「PMHOME.EXE」をダブルクリックする。

5 モニターの指示に従ってインストールを進める。

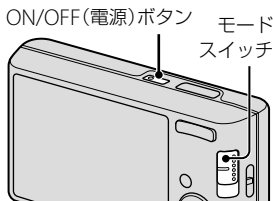
インストール完了後、「PlayMemories Home」が起動する。

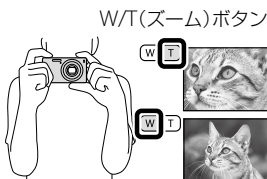
- 「拡張機能」のインストールの案内が表示されます。引き続きモニターの指示に従ってインストールしてください。
- 「拡張機能」のインストールにはインターネットに接続する必要があります。初回起動時にインストールしなかった場合は、「拡張機能」でしか使えない機能をクリックしたときにインストールの案内が表示されます。
- 「PlayMemories Home」について詳しくは、41ページをご覧ください。

ご注意

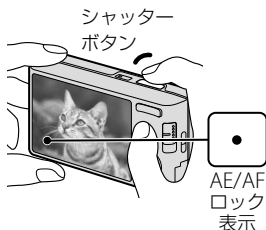
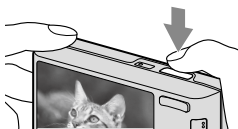
- パソコンにはコンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- MENU → (設定) → (本体設定) → [LUN設定]を[マルチ]にしてください。
- すでに「PlayMemories Home」がインストールされている場合でも、本機をパソコンに接続して「PlayMemories Home」に登録してください。使用できる機能が有効になります。
- 「PlayMemories Home」は、Macには対応していません。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。Macのご利用については、43ページをご覧ください。
- PMB（Picture Motion Browser)がインストールされている場合、「PlayMemories Home」が上書きインストールされます。「PMB」の機能で一部ご使用いただけなくなる機能があります。

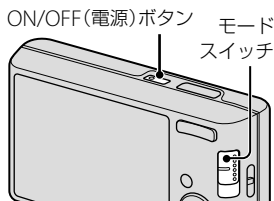
撮る(静止画)

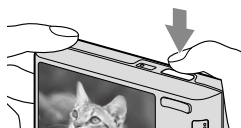
1 モードスイッチを(静止画撮影)にして、ON/OFF（電源）ボタンを押す。

2 脇を締めて構え、構図を決める。

- W/T（ズーム)ボタンのTボタンを押すとズームし、Wボタンを押すと戻る。

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

ピントが合うと「ピピッ」という音がして●が点灯する。

- ピントが合う最短距離はレンズ先端からW側約4 cm、T側約60 cm。

4 シャッターボタンを深く押し込む。

撮る（動画）

1 モードスイッチを 🎞（動画撮影）にして、ON/OFF（電源）ボタンを押す。

2 シャッターボタンを押して、撮影を開始する。

- マイクの穴をふさがないようにする。
- 撮影開始前にズーム（W/T）ボタンのTボタンを押すとズームする。Wボタンを押すと戻る。

3 もう一度シャッターボタンを押して、終了する。

見る

1 ▶（再生）ボタンを押す。

最後に撮った画像が表示される。

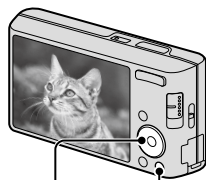
次の画像/前の画像を選ぶ

コントロールボタンの▶（次）/◀（前）で選ぶ。

• 動画を再生するには、コントロールボタン中央の●を押す。
ズームするには、Q（再生ズーム）ボタンを押す。

削除する

① 🗑（削除）ボタンを押す。

② コントロールボタンの▲で［この画像］を選び中央の●を押す。

撮影に戻る

▶ボタンを押す。

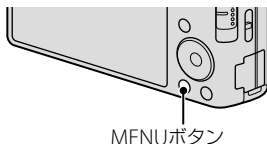
• シャッターボタンを半押ししても撮影に戻る。

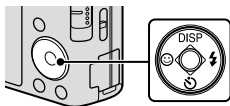
電源を切る

ON/OFF（電源）ボタンを押す。

撮って、見る

状況を自動判別して撮る

1 モードスイッチを（静止画撮影）にする。

2 MENUボタンを押す。

3 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶でi（撮影モード）→ i（おまかせオート撮影）→ 中央の●を押す。

4 被写体にカメラを向ける。

カメラがシーンを認識すると、（夜景）、（夜景&人物）、（逆光）、（逆光&人物）、（風景）、（マクロ）、（人物）の各マークとガイドがモニターに表示される。

シーン認識マークとガイド

5 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影する。

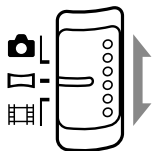
2枚撮りで好みの画像を選べ、さらに便利に！（アドバンスモード）

MENUボタンを押し、コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で iSCN（おまかせシーン認識）→ iSCN+（アドバンス）を選びます。
［アドバンス］では、失敗しがちな（夜景）、（夜景&人物）、（逆光）、（逆光&人物）を認識すると、下記のように設定を変えて、効果の異なる2枚の画像を撮影します。

	1枚目	2枚目
（夜景）	スローシンクロで撮影	感度を上げて、ブレを軽減して撮影
（夜景&人物）	フラッシュがあたっている顔を基準にスローシンクロで撮影	顔を基準に感度を上げて、ブレを軽減して撮影
（逆光）	フラッシュを使って撮影	背景の明るさ、コントラストを調整して撮影（DROプラス）
（逆光&人物）	フラッシュがあたっている顔を基準に撮影	顔と背景の明るさ、コントラストを調整して撮影（DROプラス）

パノラマ画像を撮る

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。パノラマ画像はソフトウェア「PlayMemories Home」でも再生できます。

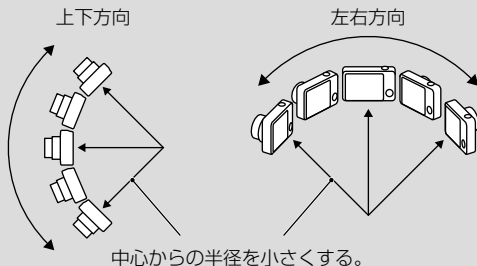
1 **モードスイッチを▭(スイングパノラマ)にする。**

2 **撮りたい被写体の端にカメラを合わせ、シャッターボタンを深押しする。**

3 **モニター上の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす。**

ご注意

- 他機で撮影されたパノラマ画像は、正しくスクロール再生されない場合があります。

スイングパノラマ撮影のポイント

脇をしめてできるだけカメラを体に寄せ、体を軸に一定の速度で小さな円を描くように、モニターの矢印方向と平行に動かしてください。動いている被写体よりも、止まっている被写体のほうがパノラマ撮影には適しています。

周囲360度の範囲を撮影するには

本機は約360度まで撮影できるパノラマ撮影機能を搭載しています。

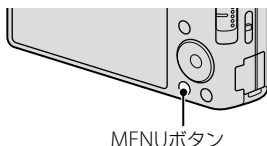
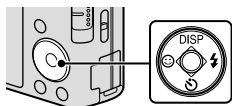
MENU → [画像サイズ]で[360度]に設定し、スイングパノラマ撮影します。撮影した画像は本機上でスクロール再生できます。

- MENU → [撮影方向]で[右]または[左]を選べます。[360度]のスイングパノラマ撮影時は、[撮影方向]で上下方向を選べません。
- 被写体や撮り方によっては撮影画角が360度より狭くなる場合があります。

顔にピントを合わせて撮る(顔検出)

カメラが人物の顔を判別して、顔にピントを合わせます。ピント合わせの優先対象を設定できます。

1 モードスイッチを(静止画撮影)にする。

2 MENUボタンを押す。

3 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で(顔検出) → 好みのモード → 中央の●を押す。

(切):顔検出機能を使わない。

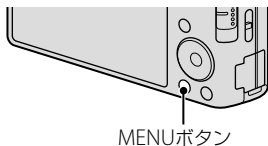
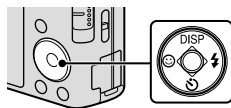
(オート):カメラまかせでピント合わせする顔を選ぶ。

優先したい顔を選択する

① 顔検出中に、コントロールボタン中央の●を押す。
左端の顔が優先顔として選択され、枠がオレンジ色の[ ]に変わる。
② 中央の●を押すと、優先顔は右の顔に移動する。
選択したい顔に[ ]のオレンジ枠があたるまで、これを繰り返す。
③ 選択を解除したい場合は、右端の顔までオレンジ枠を移動させ、もう一度中央の●を押す。

用途に合わせて画像のサイズを選ぶ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。
小さくすると、たくさん撮影できます。
動画の場合、画像サイズは大きいほど高精細になります。本機の動画はAVI（Motion JEPG）、約30フレーム/秒で記録されます。

1 MENUボタンを押す。

2 コントロールボタンの▲/▼/◄/►で 4:3 14M（画像サイズ）→ 好みのサイズ → 中央の●を押す。

静止画画像サイズ	説明
4:3 14M（4320 × 3240）	A3ノビサイズまでの印刷
4:3 10M（3648 × 2736）	
4:3 5M（2592 × 1944）	L/2L/A4サイズまでの印刷
4:3 VGA（640 × 480）	Eメールに添付
16:9 11M（4320 × 2432）	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞やA3までの印刷
16:9 2M（1920 × 1080）	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞

パノラマ画像サイズ	説明
STD（標準）	左右：4912×1080で撮影 上下：3424×1920で撮影
WIDE（ワイド）	左右：7152×1080で撮影 上下：4912×1920で撮影
360（360度）	左右：11520×1080で撮影

動画画像サイズ	説明
VGA VGA（640×480）	テレビに適したサイズで撮影
QVGA QVGA（320×240）	Eメール添付に適した小さいサイズで撮影

ご注意

- 16:9やパノラマで撮影した静止画画像は、プリント時に両端が切れることがあります。

笑顔を逃がさず撮る(スマイルシャッター)

1 コントロールボタンの ☺(スマイル)を押す。

2 笑顔を待つ。

スマイルレベルがインジケーターの◀を超えると、自動で撮影される。もう一度 ☺(スマイル)ボタンを押すと、スマイルシャッターが終了する。

- スマイルシャッター中にシャッターボタンを押しても撮影できる。撮影後はスマイルシャッターに戻る。

検出されやすい笑顔のポイント

① 前髪が目にかからないようにする。

② カメラに対して正面を向き、なるべく水平になるようにする。目は細めにする。

③ 口を開けてしっかり笑う。歯が見えているほうが笑顔を検出しやすくなる。

フラッシュモードを選ぶ

1 **コントロールボタンの⚡(フラッシュ)を押し、◀/▶で好みのモード → 中央の●を押す。**

⚡AUTO(オート)：暗い場所または逆光のとき、自動で発光する。

⚡(強制発光)：必ず発光する。

⚡SL(スローシンクロ)：必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。

🚫⚡(発光禁止)：発光しない。

ご注意

- おまかせオート撮影時は、[オート]と[発光禁止]のみ選べます。
- 連写時はフラッシュ撮影できません。

セルフタイマー/自分撮り機能を使う

1 **コントロールボタンの⏲(セルフタイマー)を押し、▲/▼で好みのモード → 中央の●を押す。**

⏲OFF(切)：セルフタイマーを使わない。

⏲10(10秒)：10秒後に撮影。自分も一緒に写りたいときに使う。シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。解除するにはもう一度⏲を押す。

⏲2(2秒)：2秒後に撮影。シャッターボタンを押したときのブレが軽減できるため、手ブレが起こりにくくなる。

（自分撮り1人）/（自分撮り2人）：カメラが人物の顔を検出して自動撮影。自分にカメラを向けて撮影するときに使う。
設定した人数の顔を検出すると「ピピッ」と音が鳴り、2秒後に撮影が開始される。

「自分撮り」で自動撮影

モニターに顔が映るようにレンズを自分に向けてください。カメラが設定した人数の被写体の顔を検出すると撮影が開始されます。カメラが最適な構図を判断して撮影するため、モニターから顔が外れるのを防ぐことができます。ピピッと音が鳴ったらカメラを動かさないでください。

- 待機中にシャッターボタンを押すと、通常撮影もできます。

モニターの表示を変える

1 コントロールボタンのDISP（画面表示設定）を押し、▲/▼で好みのモードを選ぶ。

（明るい+情報表示なし）： モニターを標準よりも明るくして、画像のみを表示

（明るい+画像データ）（再生時のみ）： モニターを標準よりも明るくして、情報を表示

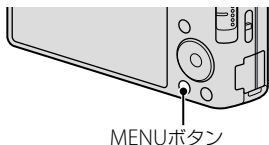
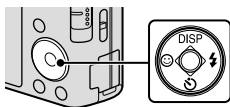
（明るい）： モニターを標準よりも明るくして、情報を表示

（標準）： モニターを標準の明るさにして、情報を表示

撮影に便利な機能を使う

場面に合った撮影モードを使う（シーンセレクション）

1 モードスイッチを📷（静止画撮影）にする。

2 MENUボタンを押す。

3 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶でi📷（撮影モード）→SCN（シーンセレクション）→ 中央の●を押す。

シーンセレクションの項目一覧が表示される。

4 好みのモード → 中央の●を押す。

(高感度)：暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影する。

(ソフトスナップ)：人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影する。

(風景)：遠景にピントを合わせ、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。

(夜景&人物)：夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影する。

(夜景)：暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影する。

(料理)：マクロモードになり、料理を明るく美味しそうに撮影する。

(ペット)：ペットを最適な設定で撮影する。

(ビーチ)：海や湖畔などの場所で撮影するとき、水の青さを鮮やかに記録する。

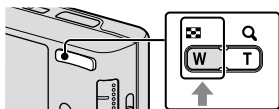
(スノー)：雪景色などの画面全体が白くなるようなシーンで雰囲気を損なわずに撮影する。

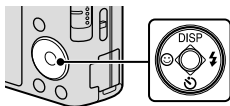
ご注意

- モードによっては、フラッシュ発光できなくなります。

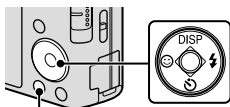
素早く探す(一覧表示)

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、▦(インデックス)ボタンを押す。

• ▦(インデックス)ボタンをもう一度押すと、更に細かい一覧表示画面になる。

2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ。

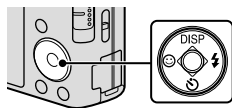
• コントロールボタン中央の●を押すと、1枚再生に戻る。

連続して再生する(スライドショー)

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生する。

2 MENUボタン → コントロールボタンの▲/▼で(スライドショー)を選び、中央の●を押す。

3 コントロールボタンの▲で[実行]を選び、中央の●を押す。

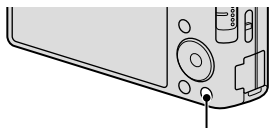
• スライドショーを終了するには、コントロールボタン中央の●を押す。

動画を見る

1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、コントロールボタンの◀/▶で動画を選ぶ。

2 中央の●を押す。

コントロールボタン	再生中にできること
●	停止
▶	早送り
◀	早戻し
▼	音量調節画面表示 • ▲/▼で音量調節し、中央の●で表示が消える。

削除する

1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、🗑（削除）ボタンを押す。

🗑（削除）ボタン

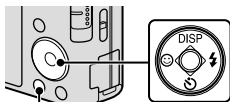
2 コントロールボタンの▲/▼で好みのモードを選ぶ。

MENUボタン

フォルダ内全て：フォルダ内すべての画像を削除する。

画像選択：何枚か選んで削除する。画像を選んで中央の●を押し、MENUを押して実行する。

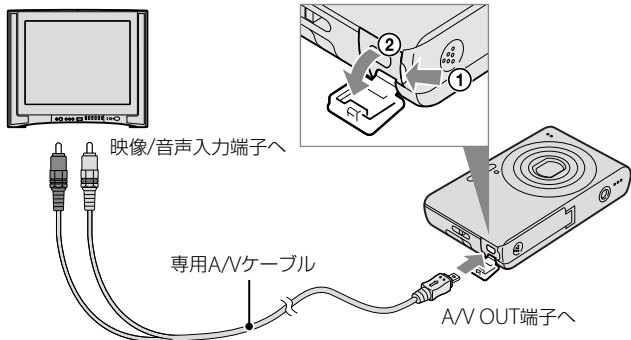
この画像：見ている画像を削除する。

キャンセル：削除を中止する。

すべての画像を削除する（フォーマット）

メモリーカードが本機に入っている場合はメモリーカードのデータを、入っていない場合は内蔵メモリーのデータをすべて削除します。フォーマットするとプロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

① MENUボタンを押す。
② コントロールボタンの▼で🧰（設定）を選び、中央の●を押す。
③ ▲/▼/◀/▶で（メモリーカードツール）または（内蔵メモリーツール）を選び、［フォーマット］→中央の●を押す。
④ ［OK］を選び中央の●を押す。

テレビで見る

1 本機とテレビを専用A/VケーブルVMC-15CSR1（別売）でつなぐ。

ご注意

- テレビにつないでいるときは、モニターに画像は表示されません。

プリントする

静止画をプリントするには、下記の方法があります。

- ダイレクトプリント（メモリーカード対応プリンター使用）
  詳しくは、プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使ってプリント
  ソフトウェア「PlayMemories Home」を使って画像をパソコンに取り込んでから、プリントします。日付を入れてプリントできます。
  詳しくは、「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください。
- お店でプリント

ご注意

- プリンターによっては、パノラマ画像を印刷できない場合があります。

お店でプリントするには

内蔵メモリー内の画像は、直接カメラからプリントすることはできません。メモリーカードにコピーしてプリントサービス店にお持ちください。

コピー方法：MENUボタン → （設定）→ （メモリーカードツール）→［コピー］→［OK］

その他詳しくは、プリントサービス店にご相談ください。

画像に日付を入れるには

本機には画像に日付を挿入する機能はありません。プリント時に日付が重なってしまうことを防ぐためです。

お店でプリントする：

日付を挿入してプリントするよう依頼できます。詳しくはプリントサービス店にお問い合わせください。

PlayMemories Homeで画像に日付を挿入する：

ソフトウェア「PlayMemories Home」をパソコンにインストールして（18ページ）、画像に直接日付を挿入できます。日付挿入した画像をプリントすると、プリント設定によっては日付が重なってしまう場合があります。ご注意ください。「PlayMemories Home」について詳しくは、「PlayMemories Home ヘルプガイド」（41ページ）をご覧ください。

パソコンで見る

サイバーショットで撮影した画像をパソコンでご活用いただくために、ソフトウェア「PlayMemories Home」をお使いください。詳しくは「PlayMemories Home ヘルプガイド」、またはPlayMemories Home サポートページ(http://www.sony.co.jp/pmh-sj/)をご覧ください。

「PlayMemories Home」でできること

「PlayMemories Home」をご利用になると、次のことなどができます。
- 本機で撮影した画像のパソコンへの取り込み、表示
- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上に整理して、閲覧
- 赤目補正など静止画の補正、プリント、メール送信、撮影日時の変更
- 画像に日付を挿入して保存、プリント

「PlayMemories Home」は、Macには対応していません。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。Macのご利用については43ページをご覧ください。

拡張機能について

「PlayMemories Home」では画像をパソコンに取り込んで、カレンダー上に整理して見るなどの基本的な機能が利用できます。より多彩な機能をご利用になるには、インターネットに接続して「拡張機能」をインストールしてください。

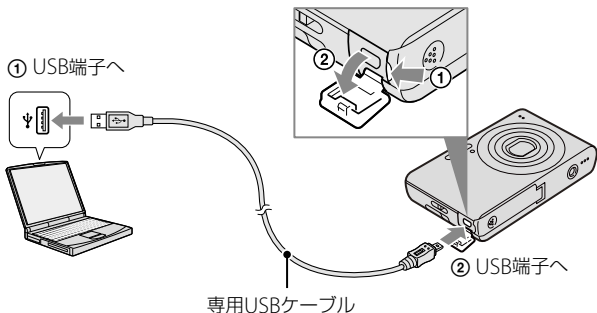
「PlayMemories Home ヘルプガイド」を見る

1 デスクトップ上の[PlayMemories Home ヘルプガイド]アイコンをダブルクリックする。

- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [PlayMemories Home] → [PlayMemories Home ヘルプガイド]の順にクリックします。

「PlayMemories Home」で画像をパソコンに取り込む

1　充分に充電したバッテリーを本機に入れ、▶（再生）ボタンを押す。

2　本機とパソコンをつなぐ。

- 通信中は本機のモニターに [USB] が表示されます。その間はパソコンの操作をしないでください。 USB が表示されたら操作できます。

3　[取り込み開始]をクリックする。

- その他詳しくは、「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください。

ご注意

- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体から専用USBケーブルをはずしたりしないでください。データが壊れることがあります。
- パソコンとの接続を切断するには、タスクトレイの切断アイコン（ ）をクリックし、[USB大容量記憶装置を安全に取り外します]をクリックしてください。
- 残量の少ないバッテリーを使用すると、データを転送できなかったり、データが壊れることがあります。

「Mac」で見る

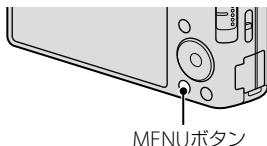
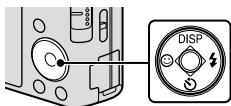
Macに画像を取り込めます。ただし、「PlayMemories Home」は対応していません。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。詳しくは、以下のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/

パソコンの推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）	USB接続：Mac OS X v10.3~v10.7

操作音を変える

操作音の設定を変更したり、音を消したりします。

1 MENUボタンを押す。

2 コントロールボタンの▼で (設定)を選び、中央の●を押す。

3 ▲/▼/◀/▶で (本体設定)を選び、[操作音] → 好みのモード → 中央の●を押す。

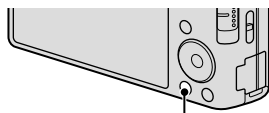
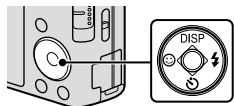
シャッター：シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。

大/小：コントロールボタン/シャッターボタンを押したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。操作音を小さくしたいときは[小]にする。

切：音は鳴らない。

MENUにある機能を使う

撮影中・再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。
本機のモニターには、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。
お買いあげ時の状態に戻すには、(設定) → （本体設定）→［設定リセット］で戻せます。

1 **MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。**

2 **コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で項目を選ぶ。再生時は、中央の●を押して決定する。**

3 **MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。**

撮影時のMENU

項目	説明
撮影モード	静止画の撮影モードの設定を変更する。 （おまかせオート撮影/Pプログラムオート撮影/SCNシーンセレクション/ブレ軽減）
シーンセレクション	撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。 （高感度/ソフトスナップ/風景/夜景＆人物/夜景/料理/ペット/ビーチ/スノー）
EASY（かんたんモード）	必要最低限の機能を使って撮影する。
撮影方向	スイングパノラマ撮影のとき、カメラを動かす方向を設定する。 （右/左/上/下）
画像サイズ	画像サイズを設定する。 （4:3 14M/4:3 10M/4:3 5M/4:3 VGA/16:9 11M/16:9 2M） （STD 標準/WIDE ワイド/360 360度） （VGA VGA/QVGA QVGA）
連写設定	1枚撮影、連写から撮影モードを設定する。 （1枚撮影/連写）
明るさ（EV補正）	露出を手動調整する。 （－2.0EV ～ +2.0EV）
ISO	ISO感度を設定する。 （ISO AUTO オート/ISO 80 ～ ISO 3200）
色合い（ホワイトバランス）	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 （WB AUTOオート/太陽光/曇天/蛍光灯1、蛍光灯2、蛍光灯3/電球/WBフラッシュ）
フォーカス	ピント合わせの方法を変更する。 （マルチAF/中央重点AF/スポットAF）
測光モード	画面のどの部分で光を測るか（測光）を設定する。 （マルチ/中央重点/スポット）
おまかせシーン認識	カメラがシーンを判断して撮影する。 （iSCNオート/iSCN+アドバンス）

項目	説明
スマイル検出感度	笑顔を検出する感度を設定する。 （大笑い/普通の笑顔/ほほ笑み）
顔検出	人物の顔を検出し、ピントを合わせる優先対象を設定する。 （切/オート）
DRO	明るさとコントラストを最適化する。 （切/スタンダード/プラス）
（設定）	本機の設定を変更する。

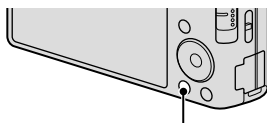
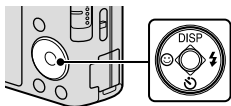
再生時のMENU

項目	説明
EASY（かんたんモード）	文字を大きくして見やすい表示で再生する。
（スライドショー）	画像を連続再生する。
（加工）	画像を加工して別ファイルで保存する。 （トリミング（リサイズ）/赤目補正）
（削除）	画像を削除する。 （この画像/画像選択/フォルダ内全て）
（プロテクト）	画像を誤って消さないように保護（プロテクト）する。 （この画像/画像選択）
DPOF	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。 （DPOFこの画像/DPOF画像選択）
（回転）	静止画を左右に回転する。
（再生フォルダ選択）	再生したい画像の入っているフォルダを選択する。
（設定）	撮影機能以外の、本機の設定を変更する。

(設定)にある機能を使う

本機のお買い上げ時の設定を変更できます。

(撮影設定)は、撮影モードから設定に入ったときのみ表示されます。

1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。

2 コントロールボタンの▼で(設定)を選び、中央の●を押して決定する。

3 ▲/▼/◀/▶で項目を選び、中央の●を押す。

4 MENUボタンを押して、設定画面を消す。

カテゴリー	項目	説明
撮影設定	グリッドライン	構図を合わせるための線を表示する。
	表示画質モード	撮影時のモニターの画質を設定する。
	デジタルズーム	光学ズーム以上のズームの方法を設定する。
	赤目軽減	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。

カテゴリー	項目	説明
本体設定	操作音	本機の操作時に鳴る音を設定する。
	言語設定	本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。
	機能ガイド	本機を操作したときに、機能の説明を表示するかどうかを設定する。
	画面カラー	モニターの背景色を設定する。
	パワーセーブ	オートパワーオフまでの時間を設定する。
	設定リセット	お買い上げ時の設定に戻す。
	ビデオ信号出力	接続するビデオ機器のカラーテレビ方式に合わせて設定する。
	USB接続	接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。
	LUN設定	USB接続したときに、パソコンなどに表示される記録メディアを設定する。
メモリーカードツール	フォーマット	メモリーカードをフォーマット(初期化)する。
	記録フォルダ作成	メモリーカードの中に新しいフォルダを作成する。
	記録フォルダ変更	画像を記録するフォルダを変更する。
	記録フォルダ削除	メモリーカードの中のフォルダを削除する。
	コピー	内蔵メモリーに記録した画像を、メモリーカードに一括コピーする。
	ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。
内蔵メモリーツール	フォーマット	内蔵メモリーをフォーマット(初期化)します。
	ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。
時計設定	日時設定	時計、日付の設定をする。

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

静止画

（単位：枚）

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットしたメモリーカード				
	約21MB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
14M	3	295	590	1150	2350	4750
10M	4	395	790	1550	3150	6300
5M	7	670	1300	2650	5300	10500
VGA	110	9800	19500	39000	78000	155000
16:9（11M）	4	360	720	1400	2850	5700
16:9（2M）	23	2100	4200	8400	16500	33500

ご注意

- 静止画の記録可能枚数が99999枚より多いときは、「>99999」と表示されます。
- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

動画

動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。

（単位：時：分：秒）

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットしたメモリーカード				
	約21MB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
VGA	0:00:18	0:25:00	0:55:00	1:50:00	3:40:00	7:25:00
QVGA	0:01:00	1:40:00	3:20:00	6:45:00	13:35:00	27:10:00

ご注意

- １つの動画ファイルの最大サイズは2GBまでです。動画記録中にファイルサイズが2GBになると、自動的に記録が終了します。
- 動画はHD対応していません。
- 動画の記録可能時間は、撮影環境によって異なる場合があります。DISP(画面表示設定)が[標準]の場合です。

モニターに表示されるアイコン一覧

モニターには、カメラの状態を表すアイコンが出ます。コントロールボタンのDISP（画面表示設定）で、モニターの表示が切り替わります（33ページ）。

撮影時のアイコン一覧

1

	バッテリー残量
	バッテリープリエンド
4:3 14M 4:3 10M 4:3 5M 4:3 VGA 16:9 11M 16:9 2M STD WIDE 360 VGA QVGA	画像サイズ
ISO	シーンセレクション
i P	撮影モード（おまかせオート撮影/プログラムオート撮影/ブレ軽減/スイングパノラマ/動画撮影）
	シーン認識マーク

1 2 3 WB	色合い（ホワイトバランス）
	測光モード
	手ブレ警告
iSCN+	おまかせシーン認識
DRO STD DRO Plus	DRO
	スマイル検出感度インジケーター
W T ×1.4 S P	ズーム

その他

2

●	AE/AFロック
ISO400	ISO感度
NR	NRスローシャッター
125	シャッタースピード
F2.8	絞り値
+2.0EV	明るさ(EV補正)
	フォーカス
録画 **スタンバイ**	動画撮影/スタンバイ
0:12	記録時間(分：秒)

3

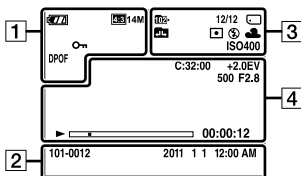
102	記録フォルダ
96	記録可能枚数
100分	記録可能時間
	記録メディア(メモリーカード、内蔵メモリー)
SL	フラッシュモード
	赤目軽減
	フラッシュ充電中

4

10 2	セルフタイマー
C:32:00	自己診断表示
OFF	顔検出
	連写設定
	温度上昇警告

	AF測距枠
+	スポット測光照準

再生時のアイコン一覧

1

	バッテリー残量
	バッテリープリエンド
4:3 14M 4:3 10M **4:3 5M 4:3 VGA** **16:9 11M 16:9 2M** **STD WIDE** **360 VGA** **QVGA**	画像サイズ
	プロテクト
DPOF	プリント予約
×2.0	ズーム

2

101-0012	フォルダ-ファイル番号
2011 1 1 12:00 AM	画像の記録日時

3

	再生フォルダ
12/12	画像番号/再生フォルダ内画像枚数
	再生メディア（メモリーカード、内蔵メモリー）
	フォルダ移動
	測光モード
SL	フラッシュモード
AWB WB	色合い（ホワイトバランス）
ISO400	ISO感度

4

C:32:00	自己診断表示
+2.0EV	EV明るさ（EV補正）
500	シャッタースピード
F2.8	絞り値
	再生
	再生バー
00:00:12	カウンター
	音量

その他

もっと詳しく知りたい(サイバーショットユーザーガイド)

「サイバーショットユーザーガイド」はオンラインで見るマニュアルです。
さらに詳しい使い方を知りたいときにご覧ください。

1 サポートページにアクセスする。

http://www.sony.jp/support/manual_dsc.html

2 型名をサイト内で検索して本機の「サイバーショットユーザーガイド」を探す。

- 型名は本機の底面をご覧ください。

- お使いの検索エンジンで「型名」、「ユーザーガイド」を入力して検索することもできます。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 以下の項目をチェックする。また、「サイバーショットユーザーガイド(HTML)」も参照し、本機を点検する。

モニターに「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、「サイバーショットユーザーガイド」をご覧ください。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする(48ページ)。

❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる(裏表紙)。

- **内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。**

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみがロックするまで挿入してください(13ページ)。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(13ページ)。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください(10ページ)。
- バッテリーの端子部が汚れています。柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてください。
- 推奨バッテリーをお使いください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前にモニターにメッセージが表示されます。
- [パワーセーブ]設定が[標準]または[スタミナ]のときに操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。ご使用状況によっては表示にズレが生じることがあります。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

バッテリーを本体に入れた状態で充電できない。

- ACアダプター（別売)を使っての充電はできません。バッテリーチャージャー（付属)を使って充電してください。

バッテリー充電中、CHARGEランプが点滅する。

- NP-BNまたはNP-BN1タイプのバッテリーかご確認ください。
- 長時間使用していないバッテリーを充電すると、CHARGEランプが点滅することがまれにあります。

- 点滅パターンは、速い点滅(約0.15秒)と遅い点滅(約1.5秒)の2種類があります。速い点滅のときは、バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。再び速い点滅をしたときは、バッテリーの異常が考えられます。
遅い点滅のときは、充電に適した温度外で充電しているため、充電を一時停止した待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電を再開し、CHARGEランプは点灯になります。
バッテリーの充電は周囲温度が10℃～30℃の環境で行うことをおすすめします。

撮影

撮影できない。

- メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまうときは、メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- 内蔵メモリーまたはメモリーカードの空き容量を確認してください(50ページ)。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
  – 不要な画像を削除してください(38ページ)。
  – メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影時は以下のメモリーカードをおすすめします。
  – "メモリースティックPROデュオ"、"メモリースティックPRO-HG デュオ"
  – Class 2以上のSDカード

被写体の明るい部分から、白や紫などの線が出たり、モニター全体が赤みがかったような画像になる。

- スミアという現象です。故障ではありません。通常の静止画には記録されませんが、スイングパノラマや動画撮影では線やムラとなって記録されます。(明るい部分とは太陽や電灯など周囲との明るさの差が大きい箇所のことです。)

再生

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本体で再生するには「PlayMemories Home」をご使用ください。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

レンズやフラッシュ発光部をきれいにする

レンズやフラッシュ発光部に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0 ℃～40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

バッテリーについて

バッテリーの充電について

- 周囲の温度が10℃～ 30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が速くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2倍～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー (36ページ)を再生して、電池が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショートなどを防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋に入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

対応バッテリーについて

本機はNP-BN（同梱バッテリー）およびNP-BN1（別売バッテリー）を使用できます。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな?と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後5年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。
修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

つづき

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

フラッシュ、AF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

長時間、同じ持ち方で使用しない

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

つづき

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指･手袋などで覆ったまま発光しないでください。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。

レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険	• 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。 • 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 • 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。 • 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 • 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。	 禁止
⚠警告	• 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 • バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。 • アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。 • 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。	 禁止
⚠注意	• 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。 • 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。	指示

お願い	リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。
	 Li-ion リチウムイオン電池
	充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、 一般社団法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照して下さい。

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子：7.76 mm（1/2.3型）カラーCCD原色フィルター
総画素数：約1450万画素
カメラ有効画素数：約1410万画素
レンズ：4倍ズームレンズ
f=4.7 mm ～ 18.8 mm
（26 mm ～ 105 mm（35 mmフィルム換算値））、F2.8（W）～ F5.9（T）
露出制御：自動、シーンセレクション（9 モード）
ホワイトバランス：オート、太陽光、曇天、蛍光灯1、2、3、電球、フラッシュ
連写の撮影間隔：約1.0秒
記録方式：
静止画記録方式：
JPEG（DCF Ver. 2.0、Exif Ver. 2.21、MPF Baseline）準拠、DPOF対応
動画記録方式：AVI（Motion JPEG）
記録メディア：内蔵メモリー 約21 MB、"メモリースティック デュオ"、SDカード
フラッシュ：撮影範囲（ISO感度（推奨露光指数）がオートのとき）
約0.3 m～ 3.5 m（W）/約0.6 m～ 1.8 m（T）

[入出力端子]

USB / A/V OUT端子
映像出力
音声出力
USB通信
USB通信：Hi-Speed USB（USB 2.0）

[モニター]

液晶モニター：6.7 cm（2.7型）、TFT駆動
総ドット数：230 400（960×240）ドット

[電源・その他]

電源：リチャージャブルバッテリーパック
NP-BN、3.6 V
消費電力（撮影時）：1.0 W
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：92.9 mm×52.4 mm×19.3 mm（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
本体質量（バッテリー NP-BN、"メモリースティック デュオ"を含む）：約113 g
マイクロホン：モノラル
スピーカー：モノラル
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応

バッテリーチャージャーBC-CSN/BC-CSNB

定格入力：AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz、2 W
定格出力：DC 4.2 V、0.25 A
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：約55 mm×24 mm×83 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約55 g

リチャージャブルバッテリーパックNP-BN

使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：2.3 Wh（630 mAh）

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- 以下はソニー株式会社の商標です。
Cyber-shot、“サイバーショット”、“Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK、“Memory Stick PRO”、“メモリースティック PRO”、MEMORY STICK PRO、“Memory Stick Duo”、“メモリースティックデュオ”、MEMORY STICK DUO、“Memory Stick PRO Duo”、“メモリースティックPROデュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“Memory Stick PRO-HG Duo”、“メモリースティックPRO-HG デュオ”、MEMORY STICK PRO-HG DUO、“メモリースティック マイクロ”、“MagicGate”、“マジックゲート”、MAGICGATE
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

サイバーショットの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど）

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
（English manual download service is available.）

ソフトウェアのサポート情報

http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

●使い方相談窓口

フリーダイヤル……………………0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話……………0466-31-2511

最初のガイダンスが流れている間に下記番号＋「＃」を押してください。
本機や付属品：「401」
ソフトウェア「PlayMemories Home」：「404」
受付時間：月〜金 9:00 〜 18:00　土・日・祝日 9:00 〜 17:00

●修理相談窓口

フリーダイヤル……………………0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話……………0466-31-2531

最初のガイダンスが流れている間に「401」+「＃」を押してください。
受付時間：月〜金 9:00 〜 20:00　土・日・祝日 9:00 〜 17:00

ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/

FAX（共通）：0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙 70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。